

2005 年度 委員会活動成果報告

(2006 年 3 月 31 日作成)

委員会名	JASS16 建具工事・改定小委員会	主 査 名：真鍋恒博
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会・内外装工事運営委員会	委員長名：田中享二・近藤照夫
設 置 期 間	2004 年 4 月～2007 年 3 月(未完成の場合完成まで延長)	
設 置 目 的 各年度活動計画	JASS16 建具工事標準仕様書は、残部が僅少になりつつある。前回改定後の諸般の周辺条件の変化に対応する必要もあり、在庫払底前に小委員会を設置して改定および頒布を行うようにする。刊行スケジュールが変更(延長)されたため、当初 2 年間の設置予定であった設置期間を 3 年間としている。	
委員構成 (委員名(所属))	名取発(東京大学)、山畑信博(東北芸術工科大学)、 鴛海 四郎((財)日本住宅・木材技術センター)、清家剛(東京大学大学院) 井上朝雄(九州大学)、脇山善夫(建築研究所)、角田誠(首都大学東京) 大島隆一(小山高専)、野城智也(東京大学)、信太洋行(東京大学) 上杉啓(東洋大学)、吉田倬郎(工学院大学)、小松幸夫(早稲田大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	JASS16 改定第 1 WG (1 節 建具工事共通事項) JASS16 改定第 2 WG (2 節 木製建具工事) JASS16 改定第 3 WG (3 節 アルミ製建具) JASS16 改定第 4 WG (4 節 鋼製ドア) JASS16 改定第 5 WG (5 節 鋼製重量シャッター) JASS16 改定第 6 WG (6 節 建具金物)	
2005 年度予算	180,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 5 回 '05.06.24 10名、第 6 回 '05.10.3 9名 第 7 回 '05.12.20 7名、第 8 回 '06.3.15 数名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>2005年度は前年度後半に引き続き、各WGで内容の検討と本文・解説の執筆を進めた。各WGのメンバーは、大学・研究所の研究者の他、建具関連メーカー・材料メーカー・ゼネコンその他の関連業界からの参加により構成している。</p> <p>今回の改定は基本的には「小改訂」として2006年3月末脱稿を目標としていたが、他のJASSの改定出版時期との兼ね合い等を検討して2007年2月脱稿に変更となった。改定にあたっては具体的には、以下の点の検討を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種基準類の改正等との整合 (安全・防犯・環境・耐震・VOC・遮煙・断熱・ハートビル法等々) ・近年の建具の状況に合わせた加筆・修正の必要性の検討 (木製建具：枠付き木製建具、アルミ建具：自動ドア、鋼製ドア：ステンレス製建具、鋼製シャッター：耐火クロス製防火・防煙スクリーン等々) <p>委員会 HP アドレス： なし</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>2年度目は、初年度目に行われた改定の基本方針の検討、改定の作業体制の整備、に基づいて改定作業を進めた。具体的作業を各WG中心に行い、基本的用語の定義、木製サッシの JASS16 内での位置付け等の、各WG内での検討に留まらない事項等の検討・調整を小委員会で行った。年度末時点では各節で解説の執筆が進んでおり、次年度末の脱稿に向けて作業の進捗は順調であると言える。</p>
その他評価すべき事項	特になし。